




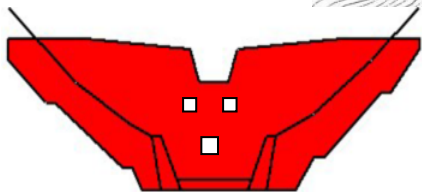
投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5 億円
		通常砂防事業 いわとだいたに 岩戸台谷川		内用地補償費	0.05 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
洲本市平安浦 <small>へいあんうら</small>			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 14.0m, L = 45.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)岩戸川に流入する土石流危険溪流 ・平成16年の台風23号の豪雨により溪岸の浸食が進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約1ha(長さ200m、最大幅170m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家12戸</u> ・ <u>国道28号(緊急輸送路:約20m)、市道(約320m)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年7月に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工所用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・国道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

いわとだいたにがわ
岩戸台谷川
 [洲本市]

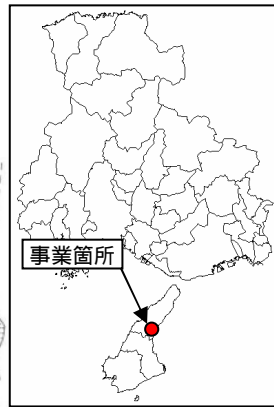
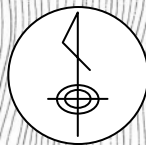
計画概略図
 縮尺 1 : 3,500

凡例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



えん堤工 H = 14.0m、L = 45.0m

流域面積 A = 0.06km²



国道28号(緊急輸送路)



えん堤工

大阪湾

(一) 明神安乎線

(二) 岩戸川